

「最近の機械貿易動向(6月)～機械輸出額8ヶ月連続減少～」

日本機械輸出組合 2019.8.30

2019年6月の機械輸出額は4兆1,993億円、対前年同月比8.0%減と、8ヶ月連続で前年同月比減少した。これは、①北米向け以外の5地域向けで減少したこと、②21業種中19業種が減少したことなどによる。為替・営業日要因が5.4%の減少寄与要因だったことを考慮すると、実質的な伸び率は2.7%減となった。2019年7月の為替・営業日要因は3.1%の増加寄与要因となっているが、8月19日発表の貿易統計速報による簡易計算では、7月の機械輸出は2.1%減であった。

I 要約

1. 全商品貿易動向(図表1)

- ① 全商品輸出額:6兆5,858億円(前年同月比[以下同じ]6.6%減、7ヶ月連続減少)
- ② 全商品輸入額:5兆9,962億円(5.2%減、2ヶ月連続減少)
- ③ 貿易収支:5,896億円の黒字

2. 機械貿易動向

(1) 機械輸出入動向(図表2)

- ① 機械輸出額:4兆1,993億円(8.0%減、8ヶ月連続減少)
為替・営業日要因を除いた実質的伸び率:2.7%減(再び減少)
- ② 機械輸入額:1兆9,292億円(4.0%減、4ヶ月ぶり減少)

(2) 為替・営業日動向

2019年6月に5.4%の減少要因、7月に3.1%の増加要因、8月に11.6%の減少要因となる。

(3) 地域別動向

- ① 北米向け以外の5地域向けが前年同月比減少(図表4、5)
- ② 北米向け:4.5%増、4ヶ月連続増加(図表4、5)
- ③ 中国向け:10.2%減、4ヶ月連続減少(図表4、5)
- ④ ASEAN・南アジア向け:6.8%減、6ヶ月連続減少(図表4、5、6、8、9)
- ⑤ EU向け:10.3%減、3ヶ月連続減少(図表4、5)
- ⑥ 韓国・台湾向け:10.9%減、17ヶ月連続減少(図表4、5、6、7)
- ⑦ その他地域向け:20.4%減、7ヶ月連続減少(図表4、5、10)

(4) 業種別動向(図表11)

上位21業種船航空機部品と繊維機械の2業種が増加。

(5) 機種別動向(図表12、13)

- ① 時計(香港向け中心)が大きく増加
- ② 鉄道車両、デジカメ・ビデオ等が大きく減少

(6) 機械輸入動向(図表14)

- ① 機械輸入額上位12機種のうち、8機種が減少
- ② そのうち3機種が二桁の増加

Ⅱ トピックス

1. 【ベトナム】好調な経済成長。米中貿易紛争による生産移転が相次ぐ

ベトナムの2019年第2四半期（4-6月期）の経済成長率は、前年同期比で6.71%だった（第1四半期は6.82%）。輸出が好調で個人消費も拡大している。IMFは、2019年の経済成長率は6.5%になると予想している。

現在のところ、米中貿易紛争はベトナム経済にとって追い風となっている。2019年上半期の対米輸出の伸びは27%に達している。中国から生産拠点を移す動きも目立ってきた。米アマゾン、kindleの生産をベトナムに移すことを表明している。中国勢の動きも加速している。中国からベトナムへの投資認可額は、年初からの5カ月間で15億6,000万ドルに達し、前年同期比で5.6倍に増えた。アジア開発銀行（ADB）は、これら生産移転の動きは今後3年間でベトナムのGDPを合計2%押し上げる効果があると予測している。

しかしリスクもある。米国政府は中国製品のベトナムからの「迂回輸出」の監視を強化しており、制裁関税を課す可能性を示唆した。

2. 【韓国】サムスンの営業利益が半減。半導体市場の低迷が続く

韓国サムスン電子の2019年第2四半期（4-6月期）の営業利益は、前年同期比56.3%減の6兆5千億ウォンと大幅減となった。売上高も4.2%減の56兆ウォンと低迷した。主力のDRAM、NANDの価格の大幅な下落や、米中貿易摩擦の激化による需要減が業績不振の要因となった。

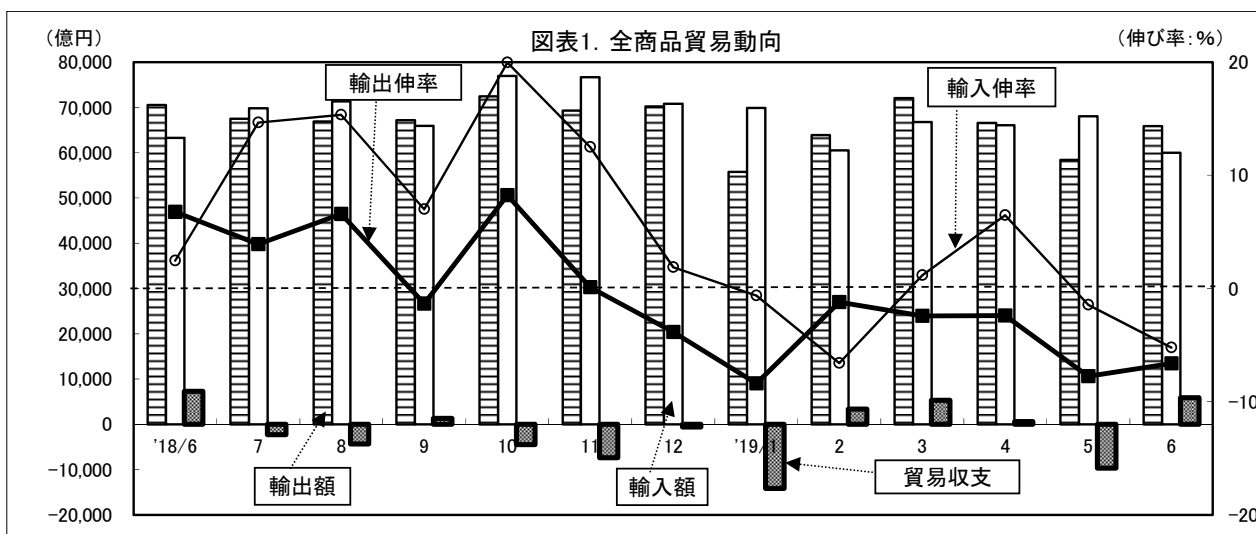
利益の約5割を占める半導体部門の短期的な回復は難しい。DRAMの第2四半期の単価は前年同期の約50%に落ち込んでおり、価格の下落は2019年後半まで続くと思われる。NANDの価格も低迷している。

サムスンは、主力のメモリ事業の不振を受けて「半導体ビジョン2030」を策定、システムLSIの開発・生産に133兆ウォンもの巨額資金を投じる計画である（台湾のTSMCと直接競合する）。スマホ部門では、旗艦機「ギャラクシーS10」の販売低迷が響いた。サムスンは発売延期となった折りたたみ式スマホ「ギャラクシー・フォールド」を年末商戦にあわせて発売し、巻き返しを図る。折りたたみ式はスマホ市場の起爆剤として期待されているが、価格をどこまで低くできるかが普及の鍵となる。

Ⅲ 個別動向

1. 全商品貿易動向～輸出は7ヶ月連続で減少、輸入も2ヶ月連続減少～

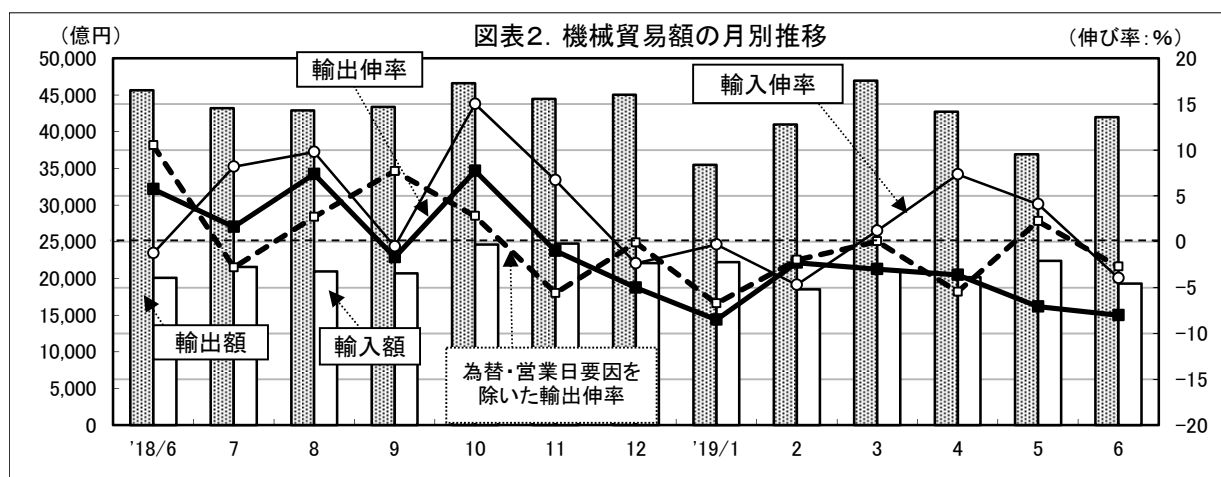
- 2019年6月の全商品輸出額は**6兆5,858億円**、前年同月比(以下同じ)**6.6%減**と7ヶ月連続で減少した(5月7.8%減)。これは、約11%を占めるプラスチック等化学製品(1.5%増)が増加したものの、約23%を占める輸送用機器(7.6%減)をはじめ、約20%を占める一般機械(8.0%減)、約17%の電気機器(9.2%減)、鉄鋼・非鉄金属等原料別製品(8.6%減)等が減少したためである。
- 輸入額は**5兆9,962億円**、**5.2%減**と2ヶ月連続で減少した(5月1.5%減)。これは、全輸入額の約20%を占める原油等鉱物性燃料(4.1%減)、約15%の電気機器(3.3%減)、一般機械(6.0%減)、鉄鋼・非鉄金属等原料別製品(10.9%減)等が減少したことによる。
- この結果、輸出額から輸入額を差し引いた貿易収支は、約5,896億円と再び黒字(5月は9,683億円の赤字)となった。



2. 機械貿易動向

(1) 機械輸出入動向～輸出は8ヶ月連続減少、輸入も4ヶ月ぶりに減少～

- 全商品輸出額の約64%を占める6月の機械輸出額は**4兆1,993億円**、**8.0%減**と8ヶ月連続で減少し(5月7.1%減)、その水準は、リーマンショック前(2008年6月)と比べると**87.8%**となって、前月に比べて5.9ポイント改善した(5月81.9%)。なお、為替・営業日要因を除いた**実質的伸び率**は**2.7%減**であった。
- 一方、全商品輸入額の約32%を占める機械輸入額は、**1兆9,292億円**、**4.0%減**と4ヶ月ぶりに減少し(5月4.1%増)、リーマンショック前(2008年6月)の水準に比べ、16.7%増となっている。

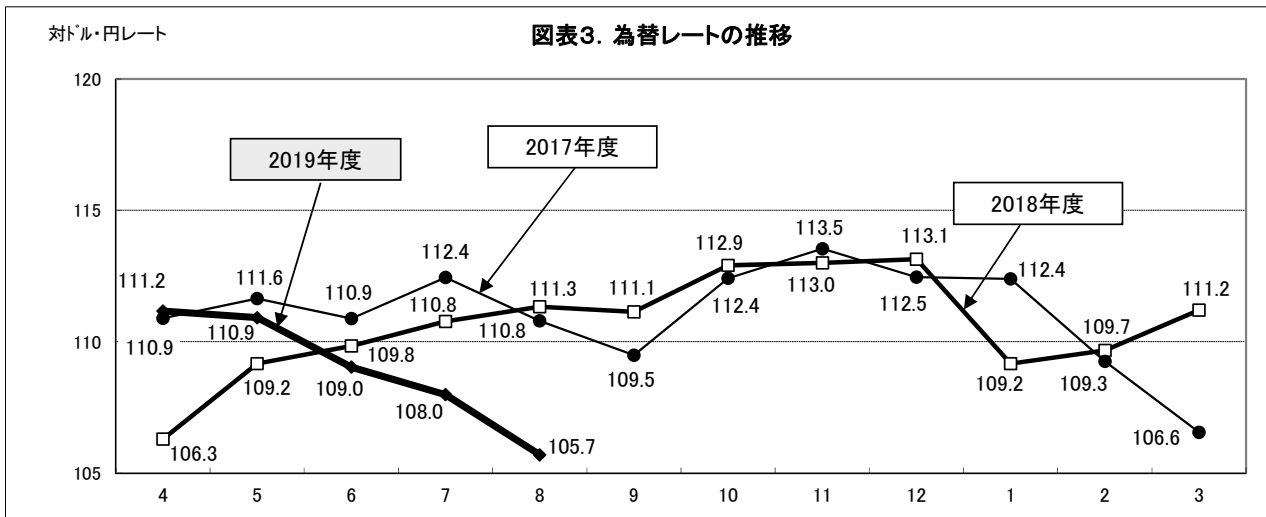


(2) 為替・営業日動向～6月は5.4%の減少要因 7月は3.1%の増加要因～

1) 2019年6月は1ドル＝109.0円となり、前年に比べ0.7%の円高となった。また、対ユーロは122.4円と前年に対して4.9%の円高となり、合わせて約0.7%の為替減少要因となった。営業日は前年に比べて1日少ないため、約4.8%の減少要因となり、合計で約5.4%の減少要因となる。5月の輸出額は8.0%減であったことから、実質的伸び率は2.7%減と再び前年同月比減少となった(5月2.2%増)。

2) 2019年7月は1ドル＝108.0円で前年比2.5%の円高、対ユーロは121.8円で前年比5.5%の円高となり、合わせて約1.6%の為替減少要因となった。営業日は前年に比べて1日多いため、約4.8%の増加要因となり、合計で約3.1%の増加要因となる。

3) 2019年8月は、対ドルが8月28日17:00時点の105.7円とすれば、5.1%の円高、また、対ユーロは117.3円で9.2%の円高となり、合わせて約3.1%の為替減少要因となる。営業日は前年に比べて2日少ないため、約8.7%の減少要因となり、合計で約11.6%の減少要因となる。



(3) 地域別動向～北米向け以外の5地域向けが減少～

1) 機械輸出額の地域的動きをみると、①全体の26.6%を占める北米向けでは、約48%を占める自動車(1.4%増)をはじめ、産業機械(25.0%増)、航空機部品(4.5%増)、建設機械(17.3%増)等が増加し、4.5%増となった。②22.2%を占める中国向けでは、自動車(0.9%増)等が増加したものの、産業機械(17.4%減)、電子デバイス(5.3%減)、軽電気機械(10.9%減)、重電気機械(6.4%減)等が減少して10.2%減となり、③15.2%のASEAN・南アジア向けは、パキスタン(40.9%減)、インド(12.0%減)、マレーシア(11.8%減)、インドネシア(10.3%減)等が二桁の減少となり、業種でも、自動車(15.4%減)、産業機械(1.1%減)、電子デバイス(7.5%減)等が減少して6.8%減となった。④12.4%を占めるEU向けは、約38%を占める自動車(7.0%増)が増加したものの、産業機械(11.4%減)、軽電気機械(2.8%減)等が減少して10.3%減となり、⑤9.3%を占める韓国・台湾向けは、産業機械(13.1%減)、電子デバイス(11.6%減)、自動車(0.7%減)等が減少して10.9%減となった。⑥14.4%のその他地域向けでは、中南米(27.6%減)、中近東(20.6%減)、大洋州(18.0%減)、アフリカ(10.5%減)向けが二桁の減少となり、業種でも、自動車(17.1%減)、船舶(35.9%減)、産業機械(28.7%減)等が大きく減少して20.4%減となった。

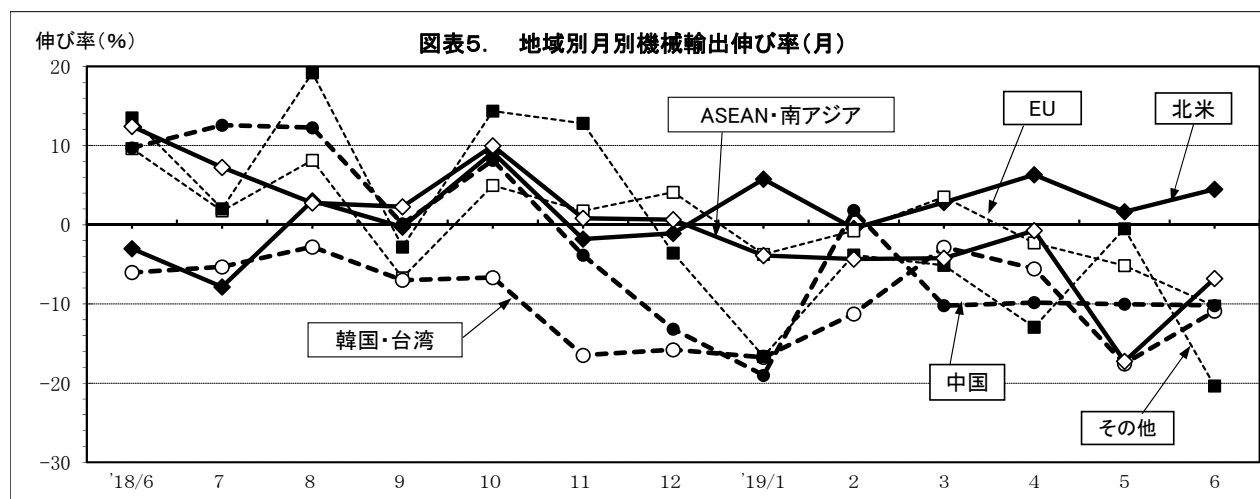
2) また、リーマンショック前の2008年6月の地域別輸出額と比較すると、中国、ASEAN・南アジア、北米向けが100%を超え、韓国・台湾向けが80%台、EU向けが70%台、その他地域向けが50%台となった。

図表4. 最近の地域別機械輸出動向

(単位: 億円)

	2019/4			2019/5			2019/6			対08年 6月比
	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	
全世界計	42,714	▲ 3.6	100.0	36,899	▲ 7.1	100.0	41,993	▲ 8.0	100.0	0.88
北米	11,734	6.3	27.5	9,605	1.7	26.0	11,169	4.5	26.6	1.03
中国	8,832	▲ 9.8	20.7	8,287	▲ 10.0	22.5	9,313	▲ 10.2	22.2	1.07
ASEAN・南アジア	6,434	▲ 0.7	15.1	5,041	▲ 17.2	13.7	6,374	▲ 6.8	15.2	1.06
EU	5,615	▲ 2.3	13.1	4,632	▲ 5.1	12.6	5,187	▲ 10.3	12.4	0.70
韓国・台湾	3,921	▲ 5.6	9.2	3,375	▲ 17.5	9.1	3,903	▲ 10.9	9.3	0.88
その他	6,178	▲ 12.9	14.5	5,959	▲ 0.5	16.1	6,048	▲ 20.4	14.4	0.58

は、2ヶ月連続で前年比10%以上増加。

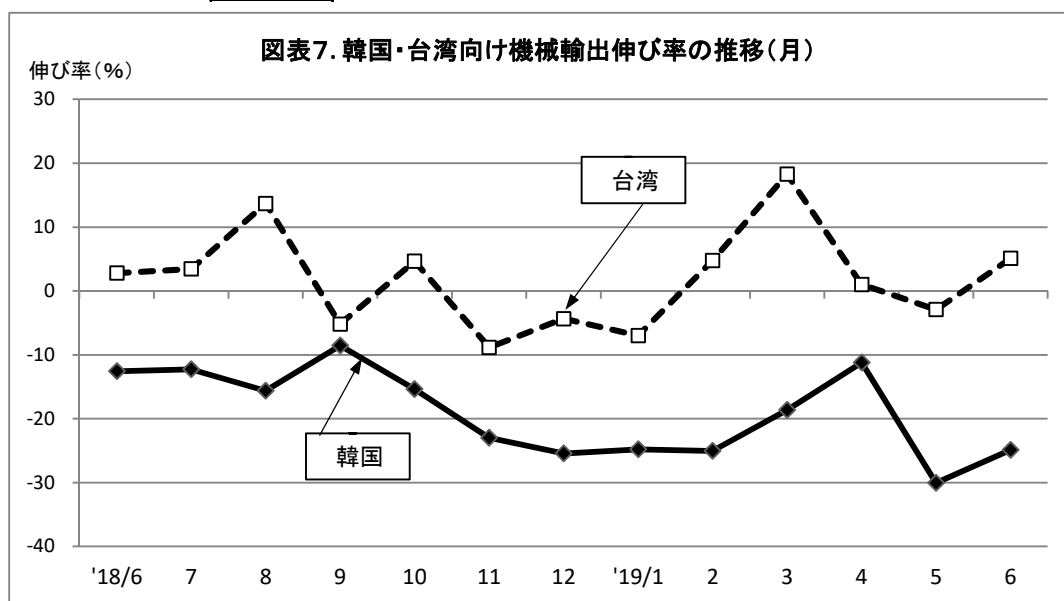


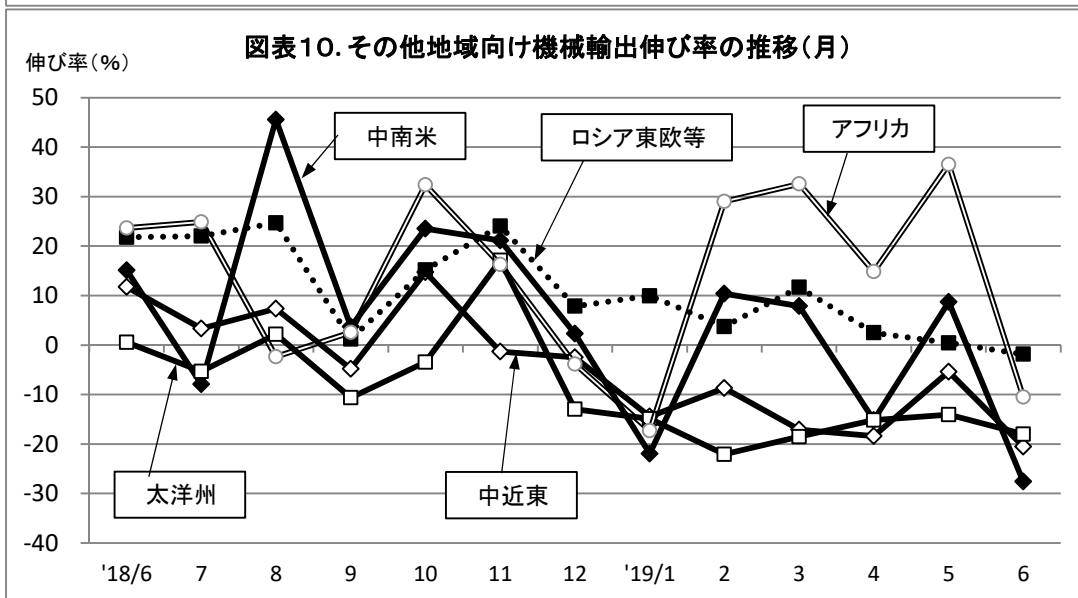
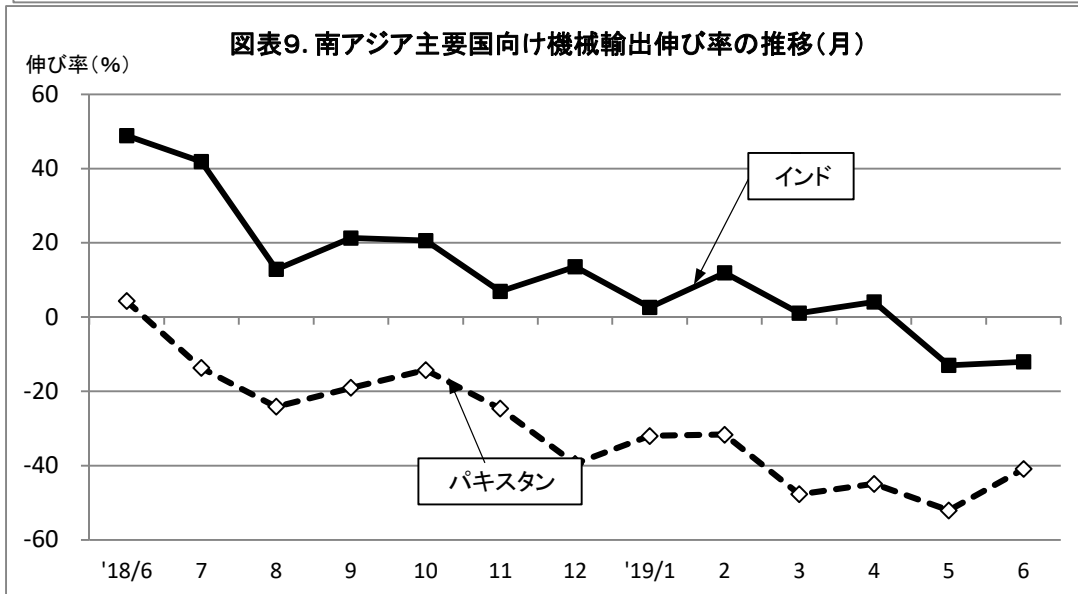
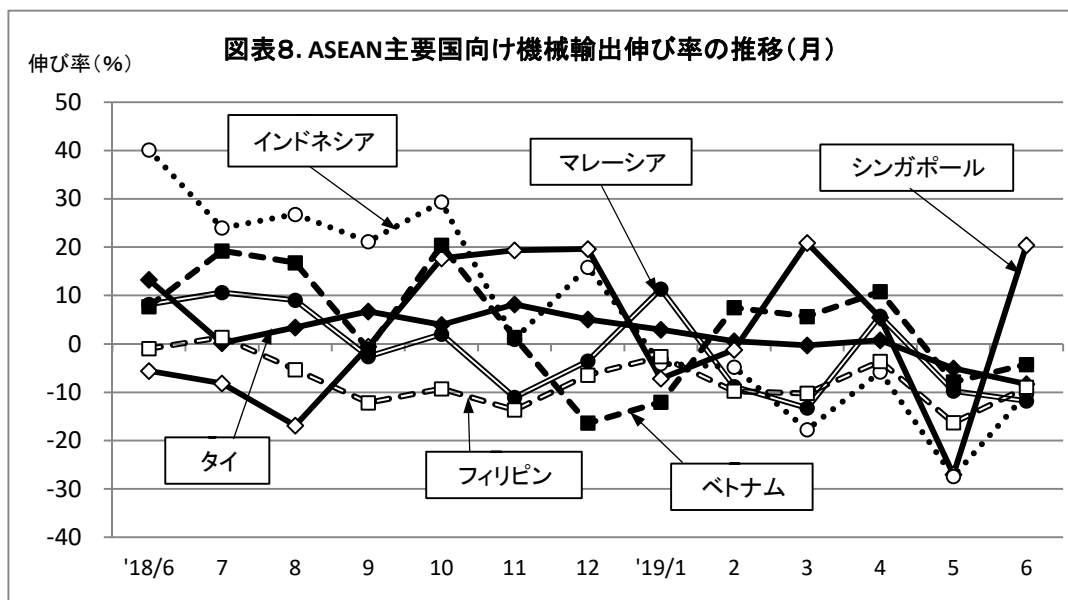
図表6. 韓国・台湾/ASEAN・南アジア/その他地域向け機械輸出の推移(月別)

(金額単位: 億円、%)

国 名	2019/3		2019/4		2019/5		2019/6	
	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率
韓国	2,264	▲ 18.6	1,976	▲ 11.2	1,544	▲ 30.0	1,753	▲ 24.9
台湾	2,459	18.3	1,945	1.0	1,830	▲ 2.9	2,150	5.1
ASEAN・南アジア								
タイ	1,779	▲ 0.3	1,585	0.8	1,406	▲ 5.1	1,636	▲ 8.3
シンガポール	1,363	20.9	1,054	5.4	732	▲ 27.0	1,086	20.4
インドネシア	820	▲ 17.8	919	▲ 5.8	498	▲ 27.4	858	▲ 10.3
マレーシア	695	▲ 13.3	712	5.7	571	▲ 9.7	630	▲ 11.8
フィリピン	627	▲ 10.2	635	▲ 3.6	547	▲ 16.3	626	▲ 9.0
ベトナム	773	5.7	708	10.8	653	▲ 7.9	745	▲ 4.3
インド	677	1.0	519	4.1	416	▲ 13.0	539	▲ 12.0
パキスタン	92	▲ 47.7	90	▲ 44.9	82	▲ 52.1	94	▲ 40.9
その他地域								
中南米	2,506	7.8	1,835	▲ 15.2	2,010	8.7	1,809	▲ 27.6
中近東	1,902	▲ 17.1	1,287	▲ 18.4	1,300	▲ 5.4	1,402	▲ 20.6
大洋州	1,356	▲ 18.5	1,306	▲ 15.2	1,015	▲ 14.0	1,130	▲ 18.0
ロシア東欧等	1,396	11.7	1,268	2.5	1,017	0.5	1,184	▲ 1.8
アフリカ	844	32.6	599	14.9	664	36.5	622	▲ 10.5

は、2ヶ月連続で前年同月比増加(10%以上)





(4)業種別動向～21 業種中航空機部品と繊維機械のみが増加。～

- 1) 業種別では、航空機部品(2.0%増)、繊維機械(1.6%増)の 2 業種増加し、それ以外の 19 業種が減少した(5 月は 20 業種が減少)。機械全体でも 8.0%の減少となった。
- 2) リーマンショック前の水準を超えたのは航空機部品、医療機械、軽機械、陸用内燃機関、ベアリング、農業機械、産業機械の 7 業種となった(5 月も 7 業種)。他方、電子計算機が 30%台、民生用電子機械、産業車両が 40%台の低い水準にある。

図表11 上位21業種の輸出額の動き

(単位: 億円、%)

2019/4				2019/5				2019/6				対08/6 比
業種名	金額	伸び率	シェア	業種名	金額	伸び率	シェア	業種名	金額	伸び率	シェア	
自動車	15,458	▲ 2.1	36.2	自動車	12,942	▲ 1.7	35.1	自動車	14,732	▲ 5.3	35.1	0.88
産業機械	7,730	▲ 5.9	18.1	産業機械	6,390	▲ 18.2	17.3	産業機械	7,730	▲ 7.6	18.4	1.03
電子デバイス	3,186	▲ 5.5	7.5	電子デバイス	3,067	▲ 3.6	8.3	電子デバイス	3,266	▲ 8.0	7.8	0.83
軽電気機械	2,374	▲ 3.7	5.6	軽電気機械	2,088	▲ 8.5	5.7	軽電気機械	2,366	▲ 8.7	5.6	0.98
重電気機械	2,054	▲ 6.3	4.8	重電気機械	1,772	▲ 11.1	4.8	重電気機械	2,084	▲ 9.4	5.0	0.97
軽機械	1,772	3.6	4.1	軽機械	1,498	▲ 7.7	4.1	軽機械	1,735	▲ 5.2	4.1	1.28
民生用電子機械	1,406	2.6	3.3	船舶	1,450	39.4	3.9	民生用電子機械	1,407	▲ 7.2	3.4	0.44
建設機械	1,394	▲ 2.1	3.3	民生用電子機械	1,190	▲ 13.6	3.2	船舶	1,354	▲ 26.4	3.2	0.72
船舶	1,358	▲ 15.5	3.2	建設機械	1,159	▲ 4.5	3.1	建設機械	1,339	▲ 4.4	3.2	0.86
光学機械	1,101	▲ 6.7	2.6	光学機械	980	▲ 12.5	2.7	光学機械	1,116	▲ 10.2	2.7	0.88
航空機部品	801	27.2	1.9	工作機械	701	▲ 5.7	1.9	航空機部品	724	2.0	1.7	1.55
工作機械	723	▲ 12.9	1.7	航空機部品	673	▲ 4.1	1.8	工作機械	698	▲ 25.5	1.7	0.81
陸用内燃機関	466	5.1	1.1	陸用内燃機関	418	▲ 1.7	1.1	医療機械	517	▲ 2.3	1.2	1.31
通信機械	459	▲ 20.0	1.1	医療機械	408	▲ 5.9	1.1	通信機械	474	▲ 4.9	1.1	0.55
医療機械	453	4.8	1.1	通信機械	404	▲ 22.4	1.1	陸用内燃機関	456	▲ 4.3	1.1	1.16
ベアリング	422	▲ 1.0	1.0	ベアリング	386	▲ 1.9	1.0	ベアリング	406	▲ 8.8	1.0	1.13
電子計算機	364	▲ 2.7	0.9	電子計算機	307	▲ 16.8	0.8	電子計算機	379	▲ 13.1	0.9	0.39
農業機械	217	9.4	0.5	繊維機械	186	▲ 14.3	0.5	農業機械	216	▲ 3.3	0.5	1.08
繊維機械	169	▲ 15.6	0.4	農業機械	186	▲ 6.1	0.5	繊維機械	196	1.6	0.5	0.82
産業車両	111	▲ 14.1	0.3	産業車両	108	▲ 4.9	0.3	産業車両	121	▲ 7.4	0.3	0.49
鉄道車両	99	▲ 22.2	0.2	鉄道車両	80	▲ 51.1	0.2	鉄道車両	84	▲ 50.0	0.2	0.86
21業種合計	42,116		98.6	21業種合計	36,392		98.6	21業種合計	41,400		98.6	0.88

は2ヶ月以上連続で10%以上増加。・産業機械: 半導体製造装置、印刷・製本機械、風水力機械、タービン

・民生用電子機械: デジカメ、TV、部品 ・電子計算機: パソコン、HDD・プリンター等部品 ・軽機械: 試験・検査機、理化学用機器

・軽電気機械: 白物家電、電子計測器、配電機器、電池 ・光学機械: その他の光学機器(半導体検査装置、レーザー等)、カメラ部品

・通信機械: 通信機械部分品、受信変換・その他送受信機器

(5)機種別動向～時計のみが二桁増加、鉄道車両、デジカメ・ビデオ等が大幅減少～

- 1) 10%以上の伸び率を示したのは、中国(主として香港)向け時計(11.9%増)のみであった。
- 2) 一方、最も落ち込み幅が大きいのが、鉄道車両(50.0%減)、デジカメ・ビデオ(32.8%減)等であった。

図表12 伸び率上位機種(月50億円以上、前年比伸び率10%以上、10機種以内)

(単位: 億円、%)

2019/4			2019/5			2019/6		
機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率
航空機部品	801	27.2	船舶	1,450	39.4	時計	108	11.9
TV	114	20.6	機種合計	1,450	* 3.9%	機種合計	108	* 0.26%
コンデンサー等部分品	866	10.0						
機種合計	1,781	* 4.2%						

は、2ヶ月連続で上位機種

* 機種合計の%は輸出額に占める割合

通信機械部分品: ケータイ、リピーター等

受信変換・その他送受信機器: ルーター、LANスイッチ等ネットワーク関連機器

図表13. 減少率上位機種(月10億円以上、10%減以上、10機種以内)

(単位:億円、%)

2019/4			2019/5			2019/6		
機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率
発電機	61	▲ 49.9	鉄道車両	80	▲ 51.1	鉄道車両	84	▲ 50.0
通信機械部分品	138	▲ 39.5	通信機械部分品	131	▲ 39.6	デジカメ・ビデオ	223	▲ 32.8
原動力機械	321	▲ 33.4	産業用ロボット	132	▲ 31.7	写真機の部分品・附属品	102	▲ 29.5
産業用ロボット	148	▲ 25.8	写真機の部分品・附属品	94	▲ 31.2	船舶	1,354	▲ 26.4
鉄道車両	99	▲ 22.2	半導体製造装置	1,624	▲ 30.4	工作機械	698	▲ 25.5
繊維機械	169	▲ 15.6	デジカメ・ビデオ	226	▲ 22.7	磁気カード・ディスク等	107	▲ 20.7
船舶	1,358	▲ 15.5	磁気カード・ディスク等	104	▲ 20.5	原動力機械	357	▲ 20.6
半導体製造装置	1,970	▲ 15.1	電子計算機	307	▲ 16.8	産業用ロボット	150	▲ 19.0
産業車両	111	▲ 14.1	風水力機械	611	▲ 15.6	金属加工機械	256	▲ 17.3
電池	447	▲ 13.4	繊維機械	186	▲ 14.3	貨物自動車	716	▲ 16.4
機種合計	4,822	* 11.3%	機種合計	3,495	* 9.5%	機種合計	4,047	* 9.6%

は、2ヶ月連続で減少率上位10位内 * 機種合計の%は輸出額に占める割合

(6) 機械輸入動向～自動車部品、乗用車等が減少、電子計算機、航空機・部品等が増加～

- 1) 6月の機械輸入伸び率は4.0%減と4ヶ月ぶりに減少した。上位12機種のうち8機種が減少し、そのうち自動車部品(14.4%減)、乗用車(15.5%減)、携帯電話(11.1%減増)の3機種が二桁の減少であった。増加したのは、電子計算機(12.0%増)、航空機・部品等(6.8%増)、医療機械(8.5%増)、コンデンサー等部分品(9.4%増)の4機種であった。
- 2) なお、輸入額が輸出額を上回っている機種は金額順に電子計算機、航空機・部品等、携帯電話、白物家電、医療機械、配電機器、受信変換その他送受信機器、時計、TV、通信機械部分品の10機種となっている。
- 3) 地域別機械輸入額は、全体の37%を占める中国(3.3%減)、ASEAN・南アジア(0.2%減)、EU(10.0%減)、北米(5.5%減)、韓国・台湾(5.7%減)、その他地域(5.6%増)の順であった。

図表14. 機械輸入額上位12機種

(単位:億円、%)

2019/4				2019/5				2019/6			
機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア
電子計算機	2,101	23.4	10.4	電子デバイス	2,120	▲ 8.3	9.5	電子デバイス	2,141	▲ 4.7	11.1
電子デバイス	2,048	▲ 3.9	10.2	電子計算機	2,010	21.5	9.0	電子計算機	1,748	12.0	9.1
携帯電話	1,422	13.5	7.0	航空機・部品等	1,882	8.1	8.4	航空機・部品等	1,324	6.8	6.9
自動車部品	1,030	▲ 3.4	5.1	乗用車	1,374	15.5	6.1	自動車部品	1,043	▲ 14.4	5.4
乗用車	969	▲ 3.7	4.8	自動車部品	1,156	▲ 5.8	5.2	乗用車	910	▲ 15.5	4.7
航空機・部品等	962	1.5	4.8	携帯電話	1,054	▲ 0.2	4.7	携帯電話	884	▲ 11.1	4.6
白物家電	795	11.5	3.9	白物家電	942	5.4	4.2	白物家電	876	▲ 2.0	4.5
医療機械	710	12.1	3.5	医療機械	752	17.7	3.4	医療機械	668	8.5	3.5
配電機器	583	5.8	2.9	配電機器	641	3.7	2.9	配電機器	581	▲ 4.1	3.0
受信変換その他送受信	533	19.4	2.6	受信変換その他送受信	619	16.9	2.8	受信変換その他送受信	539	▲ 2.2	2.8
風水力機械	364	4.0	1.8	コンデンサー等部分品	455	17.6	2.0	コンデンサー等部分品	402	9.4	2.1
コンデンサー等部分品	364	11.3	1.8	その他の配電制御装置	421	0.0	1.9	その他の配電制御装置	386	▲ 1.5	2.0
12機種合計	11,881		58.9	12機種合計	13,426		60.0	12機種合計	11,502		59.6

は対前年比が2ヶ月連続で10%以上増加。・白物家電: 民生用電気機械

・受信変換その他送受信機器: ネットワーク関連機器 ・その他の配電制御装置: スイッチ、配電盤、制御盤等